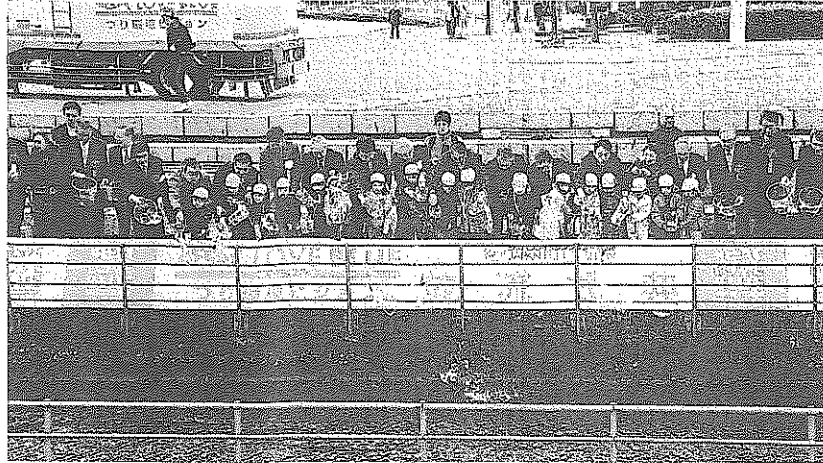


LOVE BLUE事業で放流



ショー会場裏手の臨港パークで地元園児がカサゴ稚魚を放流

ジャパンフィッシング
ショー2018初日の1
月19日、(一社)日本釣用
品工業会では、パシフィコ
横浜裏手の臨港パーク
で、カサゴの稚魚放流を
実施した。

これは、つり環境レジ
ョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE事業
の一環として、同ショー
に合わせて初めて行った
もの。

横浜港に流れ込む臨港
パーク内の水路の前に日
釣工や(公財)日本釣振
興会、横浜市などの関係
者・来賓をはじめ、地元
の幼稚園児が一行に並
び、大きく成長するよう
願いを込めて、ちびっ子
らがバケツに小分けした

カサゴ稚魚合計5000
尾を元氣よく放流した。

放流先立ち、LOVE
BLUE委員長の小島忠

雄氏と、稚魚を生産する
環境の美化、魚族資源の
(公財) 神奈川県栽培漁
業協会専務理事の今井利
為氏が挨拶。小島氏は、
釣りの未来のために同事
業で取り組んでいる水辺
環境の美化、魚族資源の
維持・保全、フィールド
の拡大の優先3事業な
ど、今井氏は同事業によ
る東京湾へのマダイ放流
事業などを紹介した。